

IV 支える基盤

① 人材（財）基盤（確保・育成）

「人」は、東京水道を支える最大の基盤であり、事業運営には人材（財）の確保・育成が不可欠です。

そのため、水道局と監理団体が一体となって、現場の経験に裏付けられた専門知識や柔軟な発想をもった人材（財）を確保・育成することにより、強固な人材（財）基盤を確立し、技術力・ノウハウを維持向上させながら、次世代へ継承していきます。

（1）人材（財）の確保

平常時はもとより、様々な脅威に的確に対応していくため、即応力を強化するなど、危機管理体制を確立していきます。

また、今後本格化する水道施設の再構築を着実に進めるための執行体制を確立していきます。

水道局では、これらの体制を支えていく人材（財）を確保していきます。

（2）人材（財）の育成

これまで、研修・開発センターの実技フィールドなどを活用した研修の実施、ナレッジバンク^{※1}の活用、水道技術エキスパート^{※2}による職員への指導・助言など様々な取組を行ってきました。

今後も、こうした取組を充実させるとともに、監理団体と一体となった研修の実施、職員・社員の相互交流を行うなど、人材（財）の育成を推進していきます。



▲漏水修理作業の研修



▲配水小管接続の研修

※1 ナレッジバンク

漏水防止作業などの技術情報を映像や文書としてデータベース化することで、職員が業務に必要な情報をパソコンから閲覧できるシステム

※2 水道技術エキスパート

高い技術力と豊富な経験を持つエキスパートを認定

①危機管理能力の向上

体験型研修や事故事例等に基づく研修を充実させ、危機管理能力を向上させていきます。

②現場における実務能力の向上

実技フィールドでの研修の実施や各職場でのOJTの推進などにより、現場における実務能力を向上させていきます。

③コンプライアンスの徹底

お客さまから一層、信頼される組織にするため、コンプライアンスや汚職等非行防止に関する研修を充実させ、使命感・倫理観・サービスマインドを更に高めるなど、意識改革を行います。

④国際感覚の醸成

アジアをはじめとした途上国の水道事情の改善に貢献するとともに、2018年国際水協会（IWA）世界会議の東京開催を見据え、国際感覚と語学力を備えた人材（財）を育成していきます。

< 東京水道を支える人材（財） >

次世代へ継承

